

イスラエル経済概況（2015年7月）

2015年8月
在イスラエル日本国大使館・経済班

1. 経済成長率

●財務省が、GDP成長率の下落理由を分析

財務省は「経済成長率が過去10年間の水準まで立ち直ることは期待できない」との見方を発表。成長率は中期的に現在の緩やかな水準に留まると結論付けた。

イスラエルの年間GDP成長率は、1991～2011年の平均が4.3%であったところ、2012年には約3%にまで低下。財務省の調査によれば、低成長の主な要因は、労働投入量の減少と研究開発投資の減少である。

イスラエルの労働生産性はOECD諸国の中でも最低レベルにあり、イスラエル銀行はこれを低い投資水準が一因であるとしている。人口動態の変化も、労働供給に影響している。人口の約3分の1を占めるイスラエルアラブ人と超正統派ユダヤ人は、世俗的なユダヤ人よりはるかに低賃金で働いており、教育や技能の水準も平均して低い。

低成長の要因は他にも存在する。一つは、直接税の増加であり、もう一つは経済に資する支出を削って防衛費が増加していることである。財務省は、これらの傾向が改善しない場合、一人あたりGDPについて、現在のOECD加盟国中18位という位置は、2030年までに2つ下がり、20位になるだろうとしている。経済成長率が3%の場合、一人あたりGDP増加率は1.4%となる。イスラエルが上位15位に加わるには、一人あたりGDPを2%増加させる必要がある。

中央銀行は、成長を妨げる主因として、輸出の減少を上げる。イスラエル銀行のフラグ総裁は、6月に（特に輸出型産業は厳しいグローバル競争にさらされており、非常に生産性が高くなければならないため）輸出がイスラエル経済の「生産性の牽引役（productivity driver）」であったと述べている。「問題は、経済危機から回復した後、商品輸出は2011年水準を維持しているが、サービス輸出の伸びは2012年の水準に留まっていることである。」



2. CPI（消費者物価指数）

●2015年6月期は0.3%、過去12ヶ月ではマイナス0.4%

中央統計局は、イスラエルの消費者物価指数（CPI）は6月に0.3%上昇したと発表した。市場の予想である0.2%をわずかに上回る値である。CPIは過去12カ月で0.4%、2015年頭からでも0.2%下落していたが、負のインフレの時期を終え、4カ月連続で上昇している。

主な価格上昇として、衣類（9.8%）、乳製品（2.6%）がある。また、主な価格下落として、生野菜（2.4%）、生果物（8.3%）がある。

3. 貿易 (Export & Import of Goods)

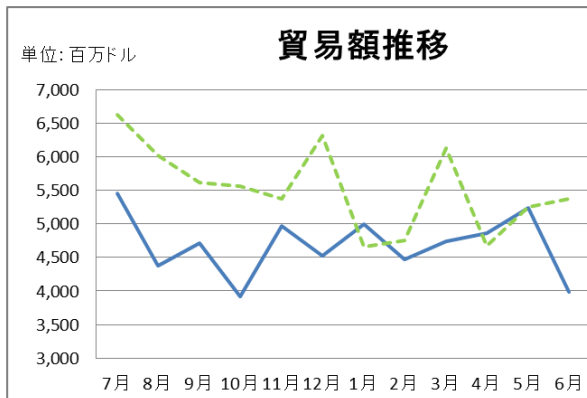
●2015年5月期は輸出入共に前月比で増加。

中央統計局が発表した2015年6月期の物品輸入総額（ダイヤ及び燃料等含む）は、前月の約202億シェケルから上昇し、約205億シェケルとなった。

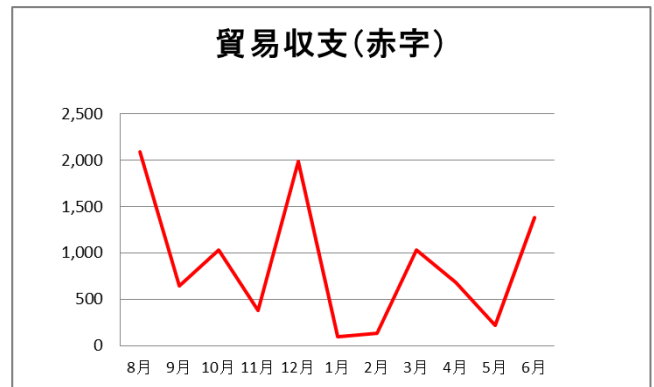
1-6月期の貿易赤字（物品のみ）は、前年同期の約250億シェケルに対し、約268億シェケルとなった。物品輸入総額（船舶、航空機、ダイヤモンドを除く）に対する、物品輸出の割合は、前年同期の77.3%に対し84.3%となっている。

物品輸入（船舶、航空機、ダイヤモンドと燃料を除く）は、1-3月期の3.8%増加に続き、4-6月期で年率2.1%増加した。物品輸出（船舶、航空機、ダイヤモンドを除く）は、1-3月期に2.9%増加したが、4-6月期で年率16.9%低下している。

6月期の貿易は、シェケル相場に影響された。6月期の為替相場は、対ドルで1.0%、対日本円で3.5%のシェケル高であった。また、対ユーロで0.5%、対ポンドで0.4%上昇した。



注: 上記グラフはダイヤモンド・船舶等を含むトータル/米ドル



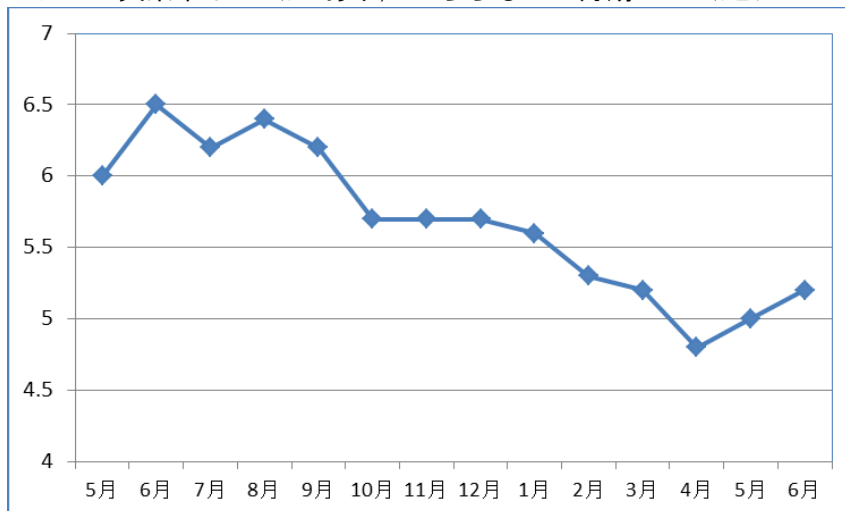
(出展: イスラエル中央統計局、報道)

4. 失業率推移

●6月期の失業率は、5.2%と前月比でさらに0.2%悪化するも、低失業率を維持

中央統計局は6月期の失業率（15歳以上）が、前月比でさらに0.2%悪化し5.2%になったと発表した。引き続き低失業率が維持されている結果となっている。

また、2015年4-6月期の失業率は5.0%となり、1-3月期の5.4%と比較して0.4%改善した。25-64歳のレンジでの失業率は4.3%であり、こちらも1-3月期の4.7%と比べて改善している。

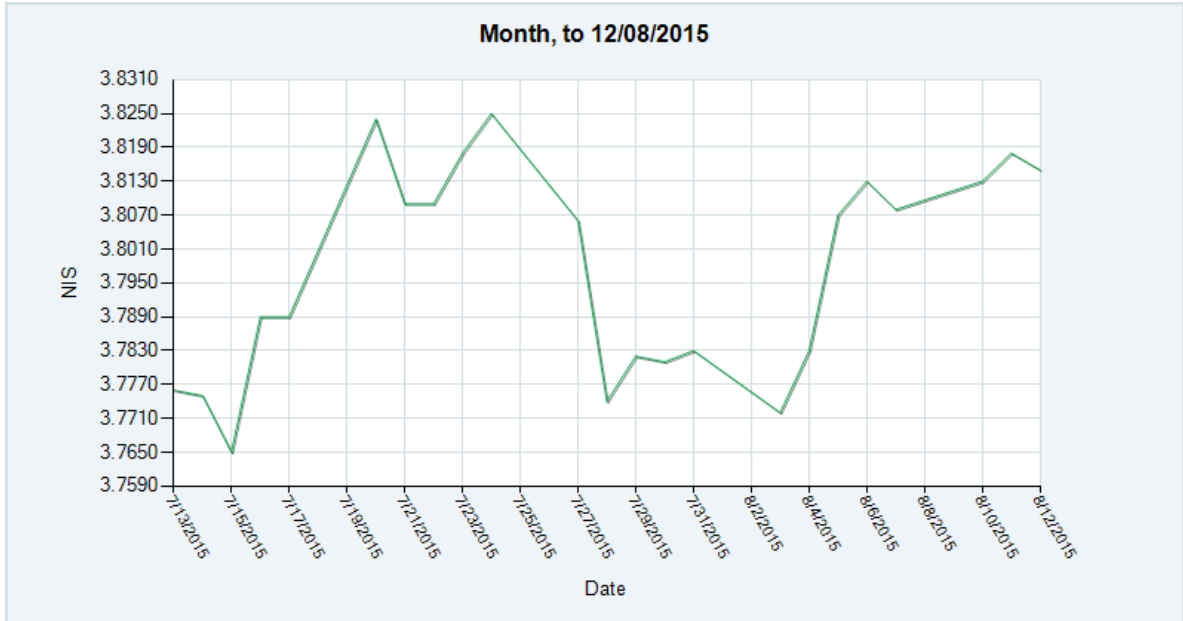


(出展: イスラエル中央統計局、報道)

5. 為替推移

●ドル/シケル推移

過去1か月間（2015年7月13日～8月12日）



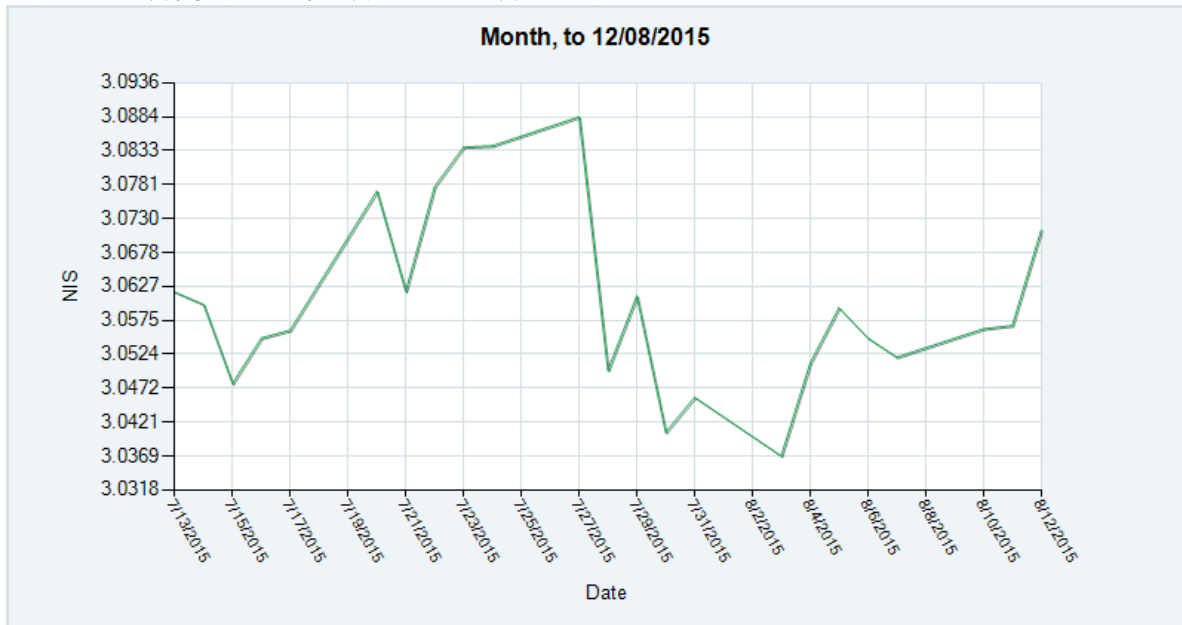
過去1年間（2014年8月13日～2015年8月12日）



（出展：イスラエル中央銀行）

●円/シェケル推移

過去1か月間（2015年7月13日～8月12日）



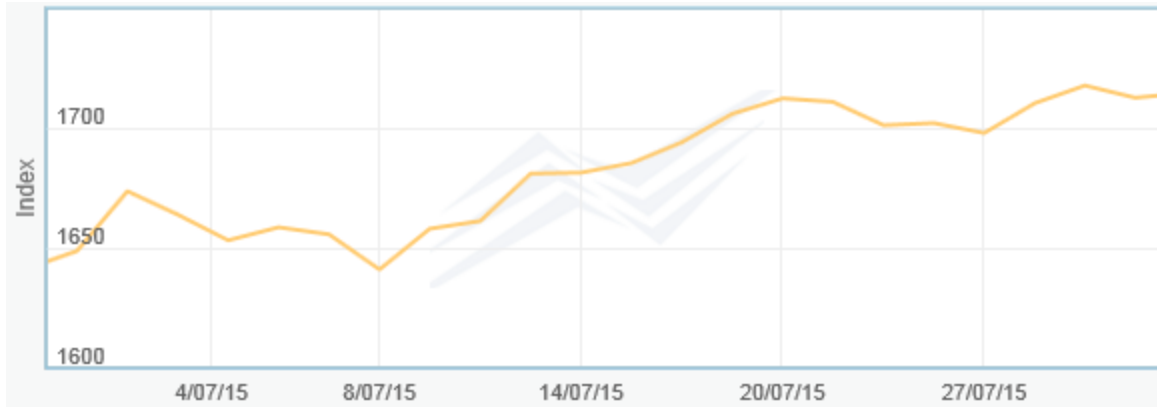
過去1年間（2014年8月13日～2015年8月12日）



（出展：イスラエル中央銀行）

●主要株価（TA25）推移

過去1か月間（2015年7月1日～7月31日）



過去1年間（2014年8月1日～2015年7月31日）



（出展：テルアビブ証券取引所、報道）